

伝統芸能の未来進化形！
未来を見据えて、いざ徳島へ！！



日本舞踊

流派を超えた伝統の革命者たち

邦楽囃子



令和3年12月10日[金]

阿南市情報文化センター(コスモホール)

開場 18時30分 開演 19時00分 終演 21時00分(予定)

入場料

一般指定席 2000円 U-25指定席 1000円

※前売・当日同料金。(ただし、当日券は座席指定できません)
※U-25指定席は、25歳以下の方が対象となります。
公演当日に25歳以下であることを証明できるもの(身分証明書など)をお持ちください。
※未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット発売日:令和3年10月12日[火] 午前10時～

プレイガイド | あわぎんホール | 窓口(9:00～17:00) | 電話 | インターネット | あわぎんホール 検索
※あわぎんホールの窓口、電話予約の受付は9:00～17:00です。※あわぎんホール窓口は会館南側新町川沿いの1階にあります。
※電話もしくはインターネットで予約された方は、全国のセブンイレブンの店頭にて24時間お支払い・お受け取りいただけます。
※車いす席をご利用のお客様は、あわぎんホールにお問い合わせください。
徳島新聞社事業部(平日9:30～17:30) ※徳島新聞各販売店でも取り次ぎます。
阿南市情報文化センター(9:00～17:00|月曜日休館)

お問い合わせ | あわぎんホール(徳島県郷土文化会館) Tel:088-622-8121 E-mail:jigy@kyoubun.or.jp

主催:公益社団法人日本芸能実演家団体協議会、公益財団法人徳島県文化振興財団、一般社団法人徳島新聞社 告知協力:四国放送株式会社 制作協力:古典空間



文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業「JAPAN LIVE YELL project」

思いを同じくする伝統の革命者たちが、徳島で繰り広げる圧倒的なコラボレーション! 初演時に大好評の「渦潮」…6年ぶり、待望の再演!!

出演者



泉 徳保

市山 松扇

猿若 清三郎



堅田 喜三郎

藤舎 呂風

福原 貴三郎



西川 扇衛仁

西川 大樹

花柳 榮輔



福原 鶴之助

福原 百貴

福原 百之助



花柳 寿美藏

藤間 勘護

藤間 章吾



鳳聲 晴久

望月 左太寿郎

望月 正浩



藤間 仁風

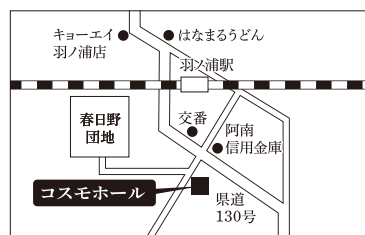
若柳 吉優

若柳 里次朗

このかい 日本舞踊家集団「弧の会」



特色の異なる数々の流派が存在する日本舞踊界において、「日本の踊りの素晴らしさを未来へ繋げよう」という熱い思いから、一線で活躍中の男性舞踊家たちが流派を超えて結集したユニット。1998年に結成以来、紋付・袴のみの「素踊り」を基本に、迫力に満ちた新作舞踊を次々と発表。中でも2000年初演『御柱祭』は、新作としては類を見ない70回に迫る再演を全国各地で重ね大反響を呼んでいる。また、若い世代に向けた普及活動も積極的に展開中。活動の方向性とそのクオリティが各方面より高い評価を受けるなど、いま最も熱い注目を浴びる日本舞踊家集団である。



阿南市情報文化センター
コスモホール
TEL.0884-44-5000
<http://yumecosmo.jp/cosmo/>
〒779-1101
徳島県阿南市羽ノ浦町中庄上
ナカレ 16-3

お客様へお願い

本公演は(公社)全国公立文化施設協会作成のガイドラインに則り、座席収容率50%でチケットを販売します。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止および感染予防対策に十分配慮しての実施となりますので、ご来場の際は、検温、手指消毒、マスクの着用等にご協力をお願いします。その他の取り組みについては、あわぎんホールホームページにてご確認ください。

<https://kyoubun.or.jp/news/news11.html>

わかじかい

邦楽囃子方集団「若獅子会」

同世代の邦楽囃子方が「伝承・普及・創造」を旨に、流派を超えて2006年に結成。同年、「第一回 若獅子会公演」を中央区立日本橋公会堂(日本橋劇場)にて開催以後、ほぼ毎年自主公演を重ねる。創作囃子曲を収録したCDをリリース、日本舞踊家集団 弧の会とコラボレーション、文化庁・文化芸術による子供育成総合事業(巡回公演事業)をはじめとする学校での公演等、囃子方演奏家が主体となり邦楽囃子の新しい可能性を追求している。2016年、オリジナル楽曲『若獅子I』が、邦楽の伝統を踏まえた優秀な創作作品に贈られる「中島勝祐創作賞」を受賞。また、2017年度には(公財)日本文化芸術財団「創造する伝統賞」を受賞。

演目

わかじ

『若獅子』

若獅子会の創作曲に共感した弧の会が、「三番叟」をモチーフに振付を施し再演を重ねています。疫病退散の祈りを込めて囃し、舞い踊ります。

たかとし

囃子組曲『鷹と獅子』

昨年世界された囃子方人間国宝・堅田喜三久師による構成曲。師より多大な御恩と影響を受けた若獅子会による入魂の追善演奏。

うざお

『渦潮』

2015年 あわぎんホール初演

穏やかな海から渦潮へ。阿波踊りの賑いに、渦潮に住む竜神も示現し共に舞い踊る。再び静かな海に戻り巡礼の旅は続く…巡礼の人々の眼に映った光景をイメージしつつ若獅子会が作曲し、弧の会が振付を施した創作作品。

おんばしら

『御柱祭』

滑り落ちる大木に命懸けて挑む天下の奇祭。男たちの熱い思いをエネルギーに描いた弧の会の代表作。2008年度文化庁芸術祭賞・優秀賞受賞(舞踊部門)。